



新しい朝

府中市立府中第十中学校
学校だより No.6
平成29年8月30日

『実りの秋に向けて』

校長 竹内 康裕

二学期が始まり、十中に活気が戻ってきました。始業式、生徒は礼儀正しく集中して話を聞いていました。二学期の初めという節目、各自が目標を確認し、充実した生活を送ってほしいと思います。

三年生はいよいよ具体的な進路を決める時期になります。これまでの頑張りが大きく結実することを強く願います。進路を具体的に絞り込むということは、それまで広く漠然と捉えていた進路先の中から、一つあるいは二つに決めるということです。言い換えると、他のものは選ばないということでもあります。それ故に厳しく難しいことだと思います。選択に向けて納得のいく努力を続けることが大切です。弛まぬ努力を応援します。二年生は学校を中心として活躍する学年となりました。今学期はすぐに職場体験が始まります。社会に出るにふさわしい力とは何かをしっかりと考え、意識し、日常生活において実践できることを期待します。責任感、思いやり、礼儀、信頼、尊重、感謝、敬愛、公德心、公共心、正義、協力、奉仕、コミュニケーション、先を考えたり見通したりする力……。社会の変化は激しく、先を簡単には見通せません。しかし今までもそしてこれからも、人としての在り方が大切であることは変わりません。これらの積み重ねはやがて将来の幸せの基礎となります。一年生はさらに良い集団作りを心掛ける時期です。「私たち」の意味する範囲が成長とともに広がっていくことを期待します。学校での「私たち」の範囲は、仲の良い友達<班<学級全体<学年全体<学校全体、と心の成長とともに広がって、その「私たち」全部を大切に思い、それが行動に移せるような成長を願っています。

8月の中旬、埼玉スタジアムでサッカーJ1の浦和レッズとブラジルのシャペコエンセというチームの対戦がありました。シャペコエンセは昨年11月に飛行機墜落事故で主力選手のほとんどが犠牲になったチームです。試合の結果はさておき、悲しみに耐え再建を目指し頑張っているチームに向けて、試合終了後にレッズサポーターがとった行動に胸が熱くなりました。

スタンドには「また世界の舞台で会いましょう、友よ！」とポルトガル語で書かれた手書きの巨大横断幕が掲げられました。さらに会場中の浦和レッズのサポーターが一斉にシャペコエンセのチームカラーである緑色のボードを掲げ、普段は浦和の赤一色に染まるはずのスタンドを一面、緑色に染めました。たとえ試合では激しくぶつかりあっても、相手への敬意は忘れない。人を思いやる気持ち、応援する気持ちが伝わり、とても温かい嬉しくなるような、そんな気持ちになりました。



人と人がそれぞれの思いで生活している毎日は、考えや意見の違い、時には失敗や誤解などでトラブルが起こります。たとえ意見や立場が違って、お互いに尊重しあうことはとても大切なことだと思います。「私」ではなく、相手も含めた『私たち』という広く優しい視点で対応ができればと思います。そのチームの監督は「このような機会を与えてくれた全ての方々に感謝したい」と目に涙を浮かべていたそうです。

学校生活を送っていく上でもそのような視点を意識し、共に成長して行ってほしいと思います。節目にあたり、新しい出発に期待しています。

熊野神社例大祭



みこし “神輿かつぎ”

に参加しよう!

府中市にとって「お祭り」は長年受け継がれてきた貴重な伝統文化の一つです。十中学区、本宿には熊野神社があります。十中の代表として、地域の一員として、熊野神社例大祭に参加してみませんか。

【熊野神社の歴史】

創建は江戸時代初期と伝えられています。例大祭は9月中旬の土日に行われ、祭神は素戔鳴命（すさのおのみこと）です。

もとは今の第五小学校の東側にありましたが、江戸時代中頃に現在地に移されました。拝殿は、天保9年（1838）に再建されました。本殿と拝殿は、市有形文化財に指定されています。本殿北側には国指定史跡「武蔵府中熊野神社古墳」があります。



◆ 日時 9/17 (日) 11:30~15:00

◆ 場所 熊野神社~NEC

◆ 服装 十中の体育着（ジャージ・半袖シャツ・ハーフパンツ）
※ 皆さんの法被は地域の方が用意してくれます。
※ 途中参加や早退も可能です。女性だけで神輿をかつぐ時間もあります。

【熊野神社例大祭の日程】

16 (土) 16:30~ 前夜祭
19:00~ 演芸大会
17 (日) 12:00~ 太鼓、神輿、山車

※ 希望者は、説明会に参加してください。

9/5 (火) 13:05~ 視聴覚室

詳しくは副校長まで

